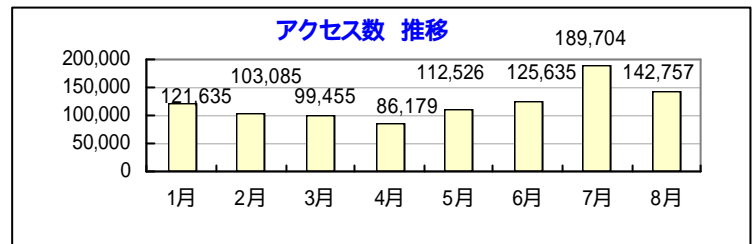


焼酎紀行アクセス数

9/1～9/16までのアクセス数は **65,448 ページビュー**でした。

たくさんのご訪問ありがとうございました。



ホームページ焼酎フェスタに、たくさんのご感想をお寄せ頂きました！！

7月1日から8月16日まで当ホームページで開催していました「焼酎フェスタ2004」には、たくさんアクセスありがとうございました。

ただ今、こだわり焼酎1300本プレゼントの当選者の選出が終わりました。当選した皆さんおめでとうございます！！外れた方は、ごめんなさいね。しかし焼酎紀行ホームページでは、毎月プレゼントを行っていますので、ぜひこちらに応募を！！皆様からお寄せ頂いた当ホームページへの声も読ませて頂きました。その中で多かった声を一部紹介したいと思います。

- ・ 「芋焼酎が出荷規制されていることを知らなかった。」
- ・ 「焼酎が健康に良いことを知って飲み始めた。」
- ・ 「美ラベルコンクールはおもしろかった。焼酎のラベルにも興味を持った。」
- ・ 好きな飲み方についての声

全国津々浦々から、たくさん集まりました。焼酎に対する関心はどの地域でも高まっていることを改めて感じます。ホームページというツールを利用してこれからも全国に向けて（いや、全世界！）情報を発信していきたいと思ひます。

トモちゃんコラム ～焼酎の進むべき方向は～

日本酒造組合中央会は、「焼酎乙類需要開発調査」の一環で、焼酎乙類にこだわりある酒販店の調査を行っています。

【焼酎乙類に関して酒販店の意見】

「年々レベルアップしている」「断然おいしくなった」との高い評価を得た声が多くなっているとのこと。その一方で、「熟成が足りないと感じる商品が目につくようになった」「新製品にはマイルドで飲みやすい商品が増え、同じ味の商品にならないよう気をつけて欲しい」「限定品などでプレミア感を付けた割には、品質が良くない商品もある」と厳しい意見もある。

焼酎の需要がここ数年増え、新しい銘柄も増えていひます。各メーカーが良質なものを造ろうという、互いにそのような競争意識が出れば焼酎業界として良い方向に進むでしょう。世の中に、焼酎が広まるほど、我々消費者としての目は肥えていくものですし、メーカー様に対する要求も高くなるものです。メーカー様も大変だとは思ひますが、良い傾向だとも言えるでしょう。

焼酎においては、「売れているものを真似する」では、いけません。「売れているものを知る」ことは良いですが、各メーカー様は、自信を持って世に出せるオリジナリティーのあるものを造って欲しいですね。

焼酎紀行HP更新情報

柳川社長もおすすめ、焼酎「柳川」(やながわまこと)インタビュー

ヤマエ久野と宝酒造様がタイアップして造られたオリジナル焼酎「種子島紫芋 本格芋焼酎 柳川」の発売につひまして、商品の名づけの元になったヤマエ久野株式会社・柳川信(やながわまこと)にインタビューを行いました。「まるやかさの中にも本来の芋焼酎の味がしっかり出ていますね。自信を持っておすすめできる一本です。」と笑顔で話っていました。

九州地区限定、期間限定(10月迄)商品

業界だより ビールメーカー「妊産婦飲酒に注意」表示

国内ビールメーカー各社は、今年6月以降各商品に、「妊娠中・授乳期の飲酒に対する注意」の表示を始めています。妊産婦飲酒に対する社会的な懸念の高まりからこのように動きました。

焼酎業界はまだ注意表示をしていませんが、表示を検討しているメーカー様もあります。今後の業界の動きに注目しましょう。

今月の焼酎プレゼント

光酒造様(福岡県)より「麦酔720ml」を20名様にプレゼントします。熟成酒のようなまるやかさが感じられる、素材にこだわった麦焼酎です。

応募期間：9月17日(金)～10月18日(月)

お酒は20歳になってから適量を！

 ヤマエ久野株式会社